



全日本建設交運一般労働組合
全国酸素部会新聞



発行 けん交労 全国酸素部会機関紙部
 大阪府堺市西区石津西町1 2番

TEL 072-241-6660

メール ctgsansobukai@ybb.ne.jp

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

6月4日 大田貨物運送（株）に けん交労の労働組合が結成されました

6月4日(月)に新しく大田貨物運送(株)にけん交労の組合が出来ました。

仕事は大陽日酸の子会社(大陽液送)の高圧ガスの配送業務を行っています。この会社は三菱マテリアルの銅輸送を軸に行っている会社で、高圧ガスの配送業務のドライバーは11名です。その中でけん交労に加入をした組合員は8名です。

当日、労働組合加入通知及び団体交渉申し入れ書を持ち、全国酸素部会から事務局長と事務局次長、立正運送分会から島向さん、地域からは堺労連の坂元事務局長、そして職場の代表である長谷川班長の5名で会社に労働組合を結成した事を申し入れ



ました。社長は早々と帰宅をして居ないので、ガス部門の責任者である林業務部長が対応しましたが、社長に伝えませぬの一言で終わりました。職場の要求は7項目と全国酸素部会の統一要求である夏季一時金の90万円です。

職場要求は小さな要求で、普通なら違法やろ！の一言で終わる要求です。簡単に報告すると不当労働行為をするな。従業員に影響を与える問題については組合と協議をして円満に行くこと。就業規則の提示をすること。残業代を正規の割増賃金で支払うこと。有給休暇についても法定通り支払うこと。日給を最低賃金以上にすること。配車の差別が行われないように監視すること。の7項目と全国酸素部会の統一要求の夏季一時金です。

会社に労働組合加入書を出した事を報告するために全国酸素部会の役員と職場の代表は全員が待っている大陽液送の車庫に戻りました。組合加入の申し入れ内容を簡単に報告して、今後の対応も含めて職場集会を部会役員と大陽液送分会と大田貨物運送班の15名で行いました。残りの3名をどう組合に加入してもらうか。この後の団体交渉をどう進めていくのか。今後、会社が不当労働行為を行ってきた時の対応の仕方など部会役員から説明しました。そして全国酸素部会への加入と堺労連の加入も含めて確認をしました。組織名は全日本建設交運一般労働組合・大阪合同支部・大陽液送分会・大田貨物運送班で、大陽液送分会に結集をする事を確認しました。

また、組合費も大陽液送分会で収めて会計も同じ統合化をはかります。同じ作業着、同じ仕事、同じ車庫と何もかもが同じなのに、なぜここまで賃金・労働条件が違うのかを追求して行きたいと思います。



太田貨物運送班 班長 長谷川達三氏

長谷川班長からの一言

以前から組合が必要だとは思っていましたが、なかなか思い切れませんでした。走行距離が上がらない時は給料が少なく、残業代も最低賃金以下だし不満が爆発した結果だと思います。退職金もあるとは言っていますがいくら有るかも分からないし不満と不安だらけです。相談の時に言われた話です。

それと機関紙を作っている時に新たに1名が加入をして9名になりました。

全国酸素部会 事務局長 鷹巣準

産業ガステクノサービス支部 近況報告

酸素部会のみなさん、こんにちは。今月号は産業ガステクノサービス支部が投稿の当番でして、拙い内容ですがご笑覧くださいませ。

さて、2018年も6月を迎え皆さんの職場では夏期一時金の交渉が熱く議論されている頃だと思います。私たちも皆さんに遅れまいと意気込んでおります。

ところが、相手方である会社はどうかと申しますと、恥ずかしいやら情けないやらの有様です。実態は、交渉の「椅子に座った」程度で「交渉のテーブルに就いた」とまでは言えない状況です。

具体的に例示しますと、会社はこれまで決算が出るまでは有額回答は出せないと言っておきながら、いざ決算が終わると態度は一変し、つい最近開催した団体交渉(6月1日)では、「一時金支給の予算が決定したから組合との交渉の余地はない」とか、交渉の材料となる「会社決算書も開示すらする必要がない」とやりたい放題です。

このような悪態、開き直りを観察していると、今の政権与党と重なって見えてしまい、思わず失笑してしまうほど品格すら感じられない情けない会社だと日々痛感しております。

ところが、県本部役員が同席する団体交渉では、必ず経営法曹団の弁護士が2名出席し、毎回行き返りは会社が用意したタクシーを利用しています。無駄な弁護士顧問料、無駄なタクシー代。こんな弁護士に払うだけの余裕があるならば社員の人件費にまわせと言っておりますが、会社は耳なし芳一。少数の組合だから適当に付き合っさえいけば構わないという腹黒さがよく分かります。

元々私たちの職場では労働組合がなく、常に労働者は分断されてきた歴史がありますので労働組合を作って会社と対等になろうとする文化がありません。ここを克服していかなければ真の労使対等は実現しません。

とはいえ、今の局面を打破しないと組合員拡大という方針は絵に描いた餅で終わってしまいます。そこで何をしても動かない相手を動かすには、「テコの原理」を思い出します。皆さんも小学校時代に理科の授業で学習した「力点」、「作用点」そして「支点」です。この支点を変えることが出来れば、太々しい会社を動かすことができると思います。その支点探しに奮闘していきますので、是非、皆さんの熱い激励をお願いします。

今回の団体交渉は6月8日で、皮肉にも一時金支給日。この日に団体交渉を設定してくるあたり、「腹黒芳一」らしいやり方ではないでしょうか。

近いうち、みなさんに茨城へ遊び?に来てもらうかもしれませんので、納豆が嫌いであれば是非エントリーしてください。

産業ガステクノサービス支部書記長 牧 英男



茨城県メーデーに参加した牧英男書記長

東大阪トラックターミナル・夢洲コンテナヤード 宣伝行動

5月18日(金) AM10:00より東大阪トラックターミナルにて、大阪トラック部会による宣伝行動が大坂合同支部8名 関西支部4名 此花支部2名 計12名で行われました。



トラックターミナルに入っていくトラック運転手や信号待ちしているトラック運転手に、組織拡大ビラが入ったティッシュを1時間配布しました。昼からは大阪万博が行われる際に使用される予定の夢洲にあるコンテナヤード付近で、ビラ配布をしました。ここでは用意していたビラ入りティッシュがなくなるほど、たくさん受け取っていただきました。

今後も組織拡大のため、定期的につけていきたいと思っております。

寿運送分会 松下裕徳